

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017年	11月	27日	記入者	橋詰輝己
調査者名	小倉	亀田	鈴木	関	橋詰

調査対象先	常德寺(じょうとくじ) (日蓮宗)				
所在地	奈良市北向町19			電話番号	0742-22-8644
代表者 調査対応者	第53代 寛紀 慈教(かんき じきょう)住職および奥様・息子さん				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	4件 3棟	国宝:	件 棟
	重文:	件		重文:	件
				重文:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	特に対策はしていないが2013年2月に本堂(県指定)の修理(屋根瓦)特に北側を修理。
	今後の予定	2017年に本堂の白壁の塗り替えを県文化財課に申請した。大きな地震が来たら仕方がない。
	要望	耐震については、県からの指導は特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	目立つた防火対策は行っていないが、消火器を4個設置している。モータプールに消火栓がある。避雷針は設置していない。
	今後の予定	特にない。
	要望	寺の回りは住宅地で道幅も狭く、火災は心配しているが、近くにモータプールの消火栓がある。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	常德寺(じょうとくじ) (日蓮宗)
-------	-------------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	1991年に本殿・庫裡・客殿が白アリの被害にあった。
③ 今後	今後の予定、要望	特にない。

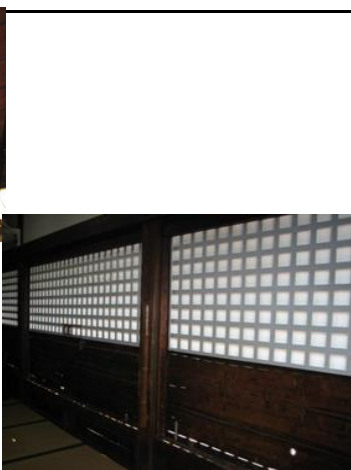
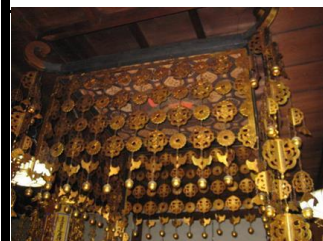
常德寺の入り口(中門)



庫裡および客殿



本堂内の様子(特に障子格子は鎌倉時代)



本堂



境内に掲げられた県指定文化財立て札



【調査票記入者(橋詰輝己)の感想】

大きな地震が来たら仕方がないが出来ることはしている。防火対策は十分にとられている。1991年にはシロアリの被害もあり対処した。災害対策は十分にできていると思われる。